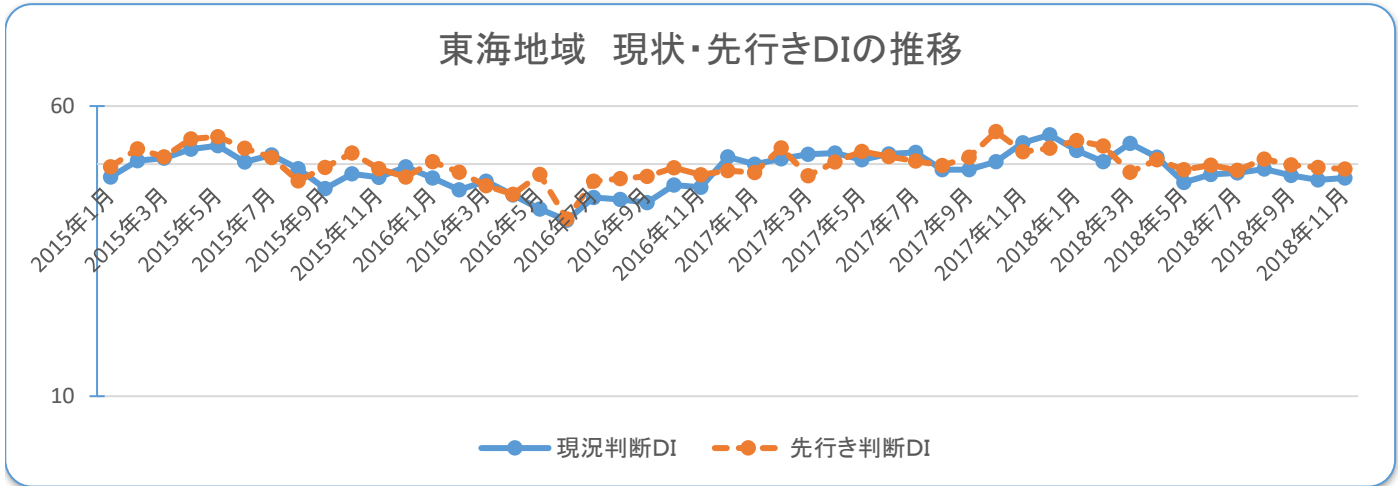


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年11月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》今月は前年と比べて、売上が前年を超える店の比率が高かった。弁当やおにぎりなど主力商品で前年超えのカテゴリが目立ってきた。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	《販売量の動き》株価が下がると、景気が悪い印象をマスコミがけん伝するので、実際には一部の事象が全てに影響しているようなイメージが固定化されて、財布のひもが固くなる。【その他飲食「仕出し」（経営者）】
		やや悪	《競争相手の様子》競争相手の価格訴求が従来よりも厳しくなっており、それに伴い日常商品を中心に売上が前年を下回っている。【スーパー（営業担当）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》一部製品の価格を改定したが、競争は相変わらず厳しいものがある。販売量は増加している。【金属製品製造業（経営者）】
		不変	《取引先の様子》企業相手に取引をする会社は好調だが、一般消費者を客にしている飲食店、美容院や小売業者は、売上や客単価が下落している。この傾向はずっと続いている。【会計事務所（職員）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》折込広告収入が少なくなっている、今まで全区域に配布依頼があったものが、地域を指定して枚数が少なくなったり、広告のサイズが以前より小さくなるなどの影響がある。【新聞販売店「広告」（店主）】
	雇用 関連	やや良	《周辺企業の様子》外国人技能実習制度を活用して人材確保へ向かう製造業が増加傾向にあり、実習生も前年比140%以上増加している。【人材派遣業（営業担当）】
		不変	《求人数の動き》有効求人倍率は高水準で推移しており、企業の採用意欲は高いが、求職者の減少もあり人手不足が深刻化している。特に中小零細企業に人が集まらないとの声を聞く。【職業安定所（次長）】
		やや悪	《求人数の動き》新規求人が、建設、製造、運輸、医療・福祉並びにサービス業などの主要産業で、2か月連続で減少している。【職業安定所（職員）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	暖冬なのか、寒さも厳しくなく客足が良く購買量も増えている。天候も良く青果物も豊富にそろい、売上拡大にも更に期待ができる。ボーナスの時期となり今後に期待したい。【スーパー（支店長）】
		不変	2～3か月先の入場者予約数は前年同日比で少し低調である。しかし、今年は暖冬の予想もあり、前年並みに入場者は確保できると思われる。【ゴルフ場（支配人）】
		やや悪	当地からは、若年層や大学を卒業した人が、皆東京や神奈川など関東方面に行ってしまう。特に女性にとっては就職先がないそうである。今月も200人以上市外へ転出し、人口がどんどん減っており、そういう面で美容業界は厳しい。【美容室（経営者）】
	企業 動向 関連	やや良	以前、消費税の引上げの際に商品、材料不足を経験しているため、今回も抱え込みが起きると考えられる。この先、建築等資材を始め耐久資材から動きが出てくる。【会計事務所（職員）】
		不変	消費税の引上げ前の駆け込み需要が感じられない。増税後の優遇税制に期待しているのか、客の反応が鈍い。【建設業（役員）】
		やや悪	国内だけでなく海外の影響が非常に大きい製品を生産しているため、為替等の海外情勢次第であり、受注の先行きに不安がある。【電気機械器具製造業（経営者）】
	雇用 関連	やや良	直接雇用について企業の受入れが好調である。また、幅広い年齢層での雇用が見込める状況が継続中である。【民間職業紹介機関（窓口担当）】
		不変	人手不足が深刻化する中、仕事はあるが受注できないという声を聞く。働き方改革推進の取組として、社員の残業を減らすために思い切って受注制限の方針を実行した企業があった。【職業安定所（次長）】
やや悪		正社員の求人数が徐々に少なくなっているため、東京オリンピック終了後に向けて、徐々に景気が悪化している。【人材派遣会社（営業担当）】	